

# 第49回 花巻市景況調査結果

(2022年4月～6月期)

## 花巻市景況調査

花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は99%。

D I 値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。D I 値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断D I 14.0ポイント上昇」(▲32.2→▲18.2)
- 「売上額D I 26.8ポイント上昇」(▲39.6→▲12.8)」

## 業況判断D I ▲18.2 (全国平均▲14.4)

花巻市の業況判断D I は、今期全産業平均でマイナス幅が14.0ポイント縮小(▲32.2→▲18.2)した。全国平均と比較すると3.8ポイント低く、東北平均とはほぼ同程度の数値となっている。

業種別に見ると、卸売業・小売業・サービス業が大幅な改善を示した。特にサービス業は38.8ポイント増加し、平均を大きく引き上げた。しかし、製造業は2期連続のマイナス幅拡大となった。

来期予想は、製造業は好転の見込みであり、卸売業は横ばい、建設業・小売業・サービス業は悪化を見込んでいる。

全国の調査結果では、全産業平均の業況判断が12.2ポイント増(▲26.6→▲14.4)となり、来期も好転が予想されている。業種別では、製造業が4.9ポイント増でマイナス幅が縮小、非製造業が14.5ポイント増と3期連続でマイナス幅が縮小した。

東北経済産業局管内でも、6県平均10.9ポイントマイナス幅が縮小(▲29.6→▲18.7)した。

岩手県においては全産業平均11.8ポイントマイナス幅が縮小し▲24.8となった。

(D I 値比較)

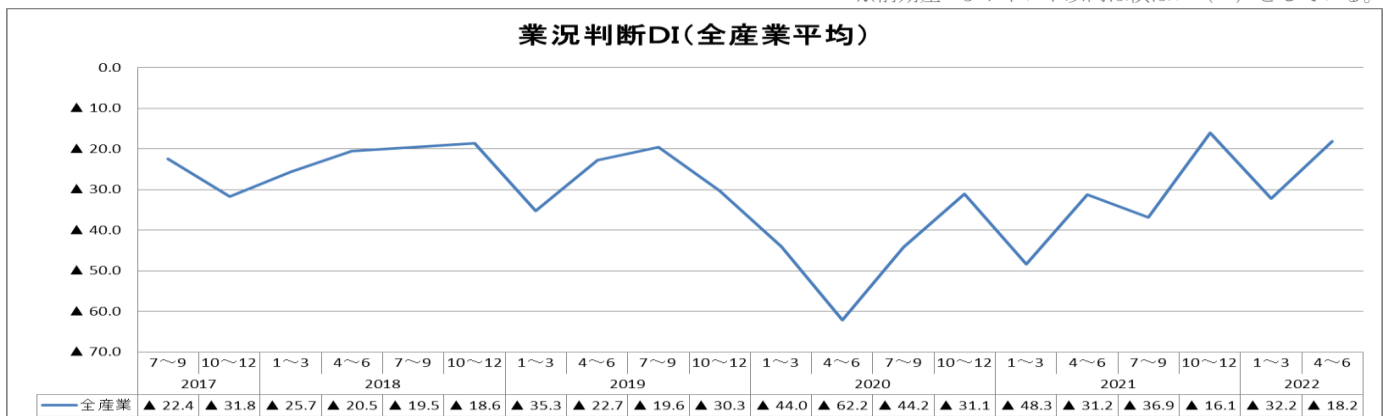
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全国平均	▲12.7	▲14.7	▲9.5	▲23.9	▲9.9	▲14.4
東北平均	▲13.9	▲15.0	▲15.8	▲27.9	▲17.8	▲18.7
花巻市	▲27.8	▲26.3	0.0	▲31.4	▲5.6	▲18.2

## 業況判断(前期比)

年	2017		2018				2019				2020				2021				2022		前期増減	来期予想	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6							
製造業	▲22.2	▲27.8	▲5.6	▲27.8	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲33.3	▲72.2	▲44.4	▲38.9	▲55.6	▲50.0	▲38.9	5.6	▲16.7	▲27.8	↘	▲11.1	▲16.7
建設業	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲25.0	▲35.0	5.0	▲10.0	▲45.0	▲50.0	▲10.0	▲25.0	▲25.0	▲20.0	▲15.0	▲15.8	▲26.3	▲26.3	→	0.0	▲31.6
卸売業	▲11.1	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲55.6	▲11.1	▲55.6	▲11.1	▲22.2	0.0	↗	22.2	0.0
小売業	▲40.0	▲42.9	▲51.4	▲37.1	▲14.3	▲42.9	▲51.4	▲22.9	▲30.6	▲58.3	▲69.4	▲83.3	▲66.7	▲41.7	▲55.6	▲41.7	▲36.1	▲31.4	▲51.4	▲31.4	↗	20.0	▲37.1
サービス業	▲38.9	▲38.9	▲44.4	▲16.7	▲27.8	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲50.0	▲55.6	▲38.9	▲50.0	▲33.3	▲38.9	▲27.8	▲44.4	▲5.6	↗	38.8	▲27.8
全産業	▲22.4	▲31.8	▲25.7	▲20.5	▲19.5	▲18.6	▲35.3	▲22.7	▲19.6	▲30.3	▲44.0	▲62.2	▲44.2	▲31.1	▲48.3	▲31.2	▲36.9	▲16.1	▲32.2	▲18.2	↗	14.0	▲22.6

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

## 業況判断DI(全産業平均)



## 売上額DI ▲12.8 (全国平均▲7.7)

売上額DIは、全産業平均26.8ポイント増で大幅なマイナス幅縮小(▲39.6→▲12.8)となった。

業種別に見ると、建設業のみ減少したが、特に卸売業・小売業では50ポイント以上増加した。

来期予想では、製造業と建設業が増加、その他の業種は減少を予想している。

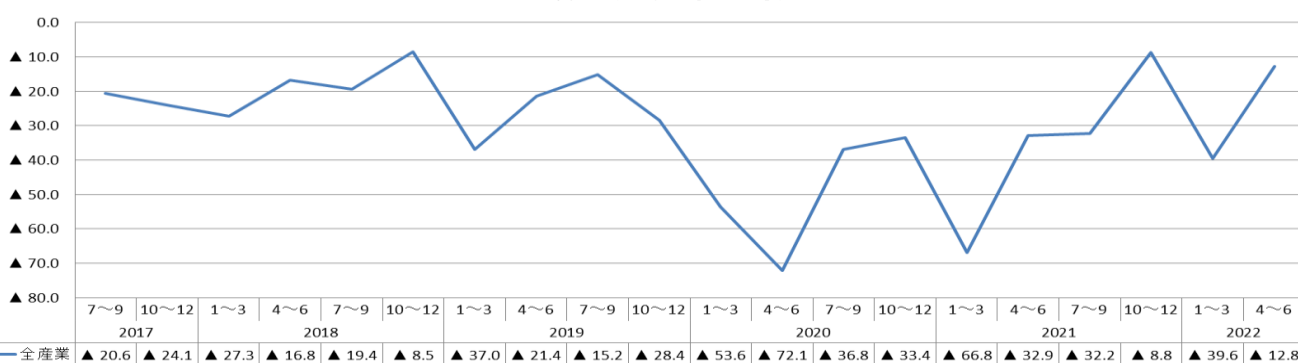
全国の調査結果では、全産業平均15.8ポイントの増(▲23.5→▲7.7)となった。業種別にみても全産業で増加を示し、特にサービス業は29.1ポイント増となった。

売上額DI(前期比)

年	2017		2018		2019		2020		2021		2022		前期増減	来期予想									
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6											
製造業	▲22.2	▲27.8	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲44.4	▲44.4	▲16.7	16.7	▲66.7	▲77.8	▲50.0	▲22.2	▲61.1	▲27.8	▲38.9	38.9	▲27.8	▲22.2	↗	5.6	▲5.6
建設業	▲10.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲40.0	10.0	▲20.0	▲40.0	▲80.0	5.0	▲20.0	▲45.0	▲20.0	0.0	▲26.3	▲21.1	▲52.6	↘	▲31.5	▲42.1
卸売業	0.0	▲44.4	▲22.2	0.0	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲22.2	▲33.3	▲66.7	▲44.4	▲22.2	▲77.8	▲33.3	▲66.7	0.0	▲33.3	33.3	↗	66.6	22.2
小売業	▲48.6	▲31.4	▲48.6	▲25.7	▲25.7	▲48.6	▲60.0	▲5.7	▲30.6	▲66.7	▲77.8	▲75.0	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲44.4	▲16.7	▲40.0	▲65.7	▲11.4	↗	54.3	▲31.4
サービス業	▲22.2	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲27.8	22.2	▲44.4	▲5.6	▲38.9	▲50.0	▲50.0	▲61.1	▲33.3	▲44.4	▲72.2	▲38.9	▲38.9	▲16.7	▲50.0	▲11.1	↗	38.9	▲27.8
全産業	▲20.6	▲24.1	▲27.3	▲16.8	▲19.4	▲8.5	▲37.0	▲21.4	▲15.2	▲28.4	▲53.6	▲72.1	▲36.8	▲33.4	▲66.8	▲32.9	▲32.2	▲8.8	▲39.6	▲12.8	↗	26.8	▲16.9

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

売上額DI(全産業平均)



## 経常利益DI ▲33.1 (全国平均▲29.5)

経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が1.2ポイント拡大(▲31.9→▲33.1)した。悪化を示したものの全国平均と比較すると3.6ポイント差にとどまっている。

業種別では、建設業が好転し、卸売・サービス業が横ばい、製造業・小売業が悪化となった。

来期予想では、全産業で横ばい、あるいは好転を示し改善が予想されている。

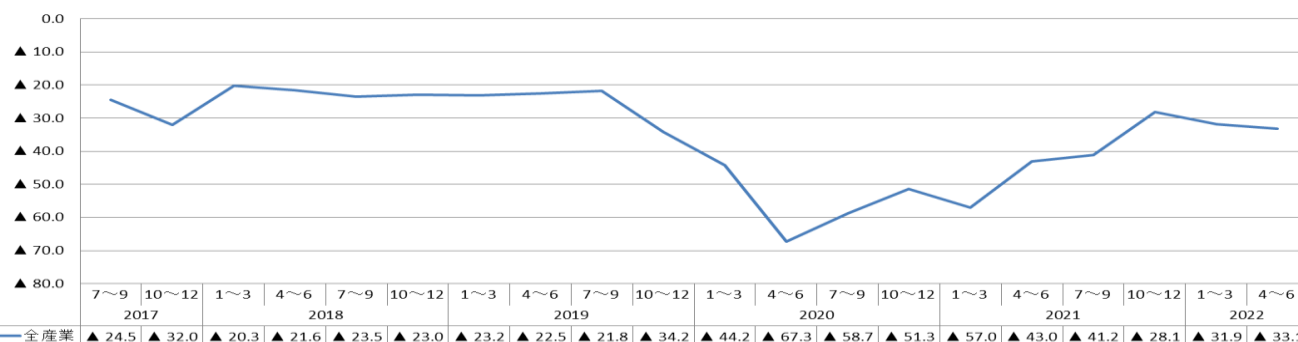
全国の調査結果では、10.4ポイントマイナス幅が縮小(▲39.9→▲29.5)した。業種別でみると建設業が悪化を示したが、他の産業は好転した。

経常利益DI(前年同期比)

年	2017		2018		2019		2020		2021		2022		前期増減	来期予想									
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6											
製造業	▲16.7	▲27.8	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲33.3	▲72.2	▲72.2	▲66.7	▲72.2	▲38.9	▲38.9	0.0	▲33.3	▲38.9	↘	▲5.6	▲33.3
建設業	▲10.0	▲25.0	0.0	▲15.0	▲25.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	5.0	▲10.0	▲35.0	▲70.0	▲35.0	▲40.0	▲35.0	▲40.0	▲20.0	▲42.1	▲47.4	▲42.1	↗	5.3	▲36.8
卸売業	▲11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲44.4	▲44.4	▲55.6	▲22.2	▲11.1	▲11.1	→	0.0	▲11.1
小売業	▲57.1	▲57.1	▲51.4	▲42.9	▲37.1	▲54.3	▲40.0	▲31.4	▲41.7	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲69.4	▲50.0	▲66.7	▲52.8	▲47.2	▲37.1	▲34.3	▲40.0	↘	▲5.7	▲40.0
サービス業	▲27.8	▲50.0	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲5.6	▲27.8	▲27.8	▲38.9	▲50.0	▲61.1	▲61.1	▲72.2	▲88.9	▲66.7	▲38.9	▲44.4	▲38.9	▲33.3	▲33.3	→	0.0	▲27.8
全産業	▲24.5	▲32.0	▲20.3	▲21.6	▲23.5	▲23.0	▲23.2	▲22.5	▲21.8	▲34.2	▲44.2	▲67.3	▲58.7	▲51.3	▲57.0	▲43.0	▲41.2	▲28.1	▲31.9	▲33.1	→	▲1.2	▲29.8

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

経常利益DI(全産業平均)



## 資金繰りDI ▲5.6 (全国平均▲12.3)

全産業平均で前期差 17.3 ポイントマイナス幅が縮小 (▲28.3→▲11.0) した。

業種別に見ると、建設業は横ばいではあったが、製造業・卸売業・小売業・サービス業は改善をみせたため、平均を大きく引き上げた。

来期予想では、製造業がマイナス域を脱するが、全産業ではマイナス幅の拡大が予想されている。

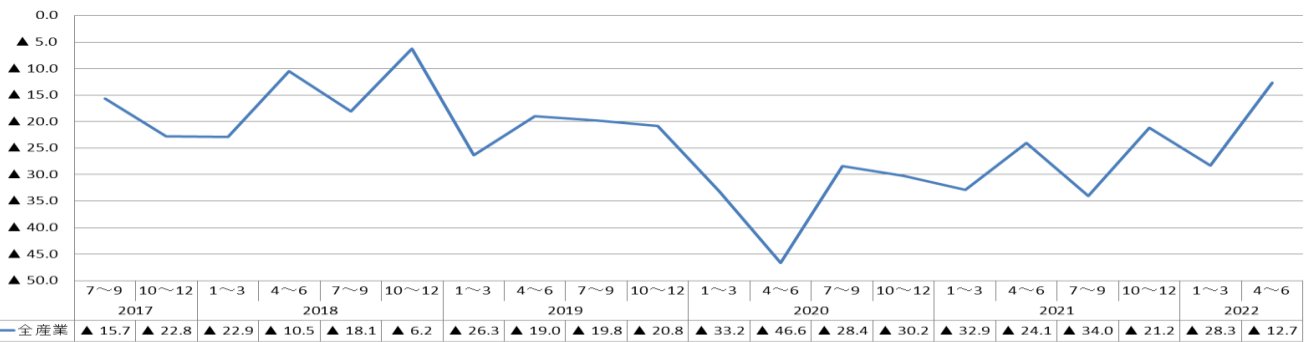
全国の調査結果では、全産業平均で 7.6 ポイント増 (▲19.9→▲12.3) となった。業種別にみると小売業が 7.1 ポイント、サービス業が 12.5 ポイント増とマイナス幅を縮小した。

資金繰りDI(前期比)

年	2018				2019				2020				2021				2022		前期増減	来期予想			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6							
製造業	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	0.0	0.0	▲11.1	▲22.2	▲11.1	5.6	▲27.8	▲44.4	▲27.8	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲5.6	↗	11.1	5.6
建設業	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	▲15.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	▲15.0	▲30.0	▲55.0	5.0	▲15.0	▲20.0	▲15.0	▲20.0	▲10.5	▲21.1	▲21.1	→	0.0	▲15.8
卸売業	0.0	▲33.3	▲22.2	11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲44.4	▲11.1	▲22.2	11.1	↗	33.3	0.0
小売業	▲34.3	▲31.4	▲37.1	▲25.7	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲14.3	▲33.3	▲38.9	▲52.8	▲61.1	▲41.7	▲41.7	▲44.4	▲44.4	▲33.3	▲34.3	▲42.9	▲22.9	↗	20.0	▲25.7
サービス業	▲33.3	▲22.2	▲50.0	▲22.2	▲33.3	0.0	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲44.4	▲55.6	▲55.6	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲38.9	▲16.7	↗	22.2	▲27.8
全産業	▲15.7	▲22.8	▲22.9	▲10.5	▲18.1	▲6.2	▲26.3	▲19.0	▲19.8	▲20.8	▲33.2	▲46.6	▲28.4	▲30.2	▲32.9	▲24.1	▲34.0	▲21.2	▲28.3	▲11.0	↗	17.3	▲12.7

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

資金繰りDI(全産業平均)



## 従業員数DI ▲5.6 (全国平均▲3.3)

従業員数DIは、1.0ポイントマイナス幅が縮小 (▲5.0→▲4.0) し、わずかな改善を示した。

産業別に見るとサービス業が 22.3ポイントマイナス幅を拡大させたが、他業種では横ばい、あるいは増加を示す形となった。

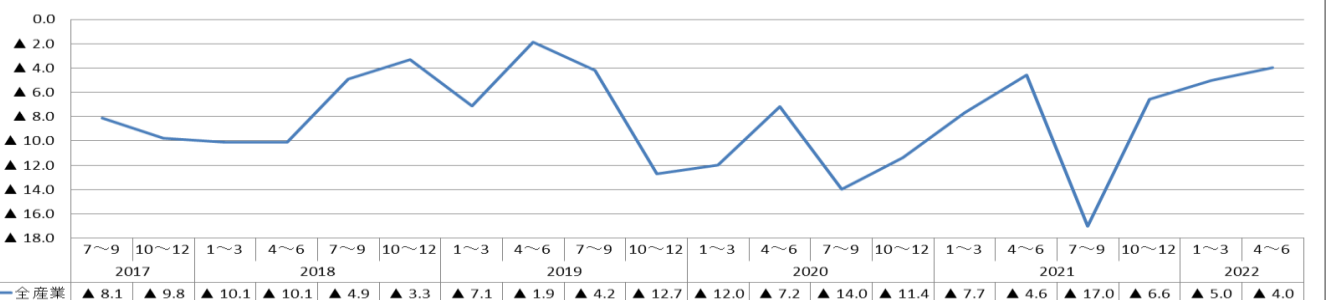
全国調査の従業員数DIは、全産業平均で 3.6ポイント増加 (▲6.9→▲3.3) した。

従業員DI(前年同期比)

年	2017				2018				2019				2020				2021				2022		前期増減	来期予想
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6				
製造業	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲5.6	▲11.1	0.0	5.6	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲33.3	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲16.7	▲11.1	▲5.6	↗	5.5	0.0	
建設業	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲5.0	0.0	▲5.0	10.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	▲25.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	5.0	▲10.0	▲5.3	▲5.3	5.3	↗	10.6	▲21.1	
卸売業	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲33.3	0.0	▲11.1	0.0	↗	11.1	▲11.1	
小売業	▲14.3	▲11.4	▲2.9	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.8	▲11.1	0.0	0.0	▲2.8	0.0	0.0	▲8.3	▲5.7	▲2.9	▲2.9	→	0.0	0.0	
サービス業	▲5.6	▲5.6	▲11.1	5.6	0.0	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	5.6	▲16.7	↘	▲22.3	▲11.1	
全産業	▲8.1	▲9.8	▲10.1	▲10.1	▲4.9	▲3.3	▲7.1	▲1.9	▲4.2	▲12.7	▲12.0	▲7.2	▲14.0	▲11.4	▲7.7	▲4.6	▲17.0	▲6.6	▲5.0	▲4.0	→	1.0	▲8.7	

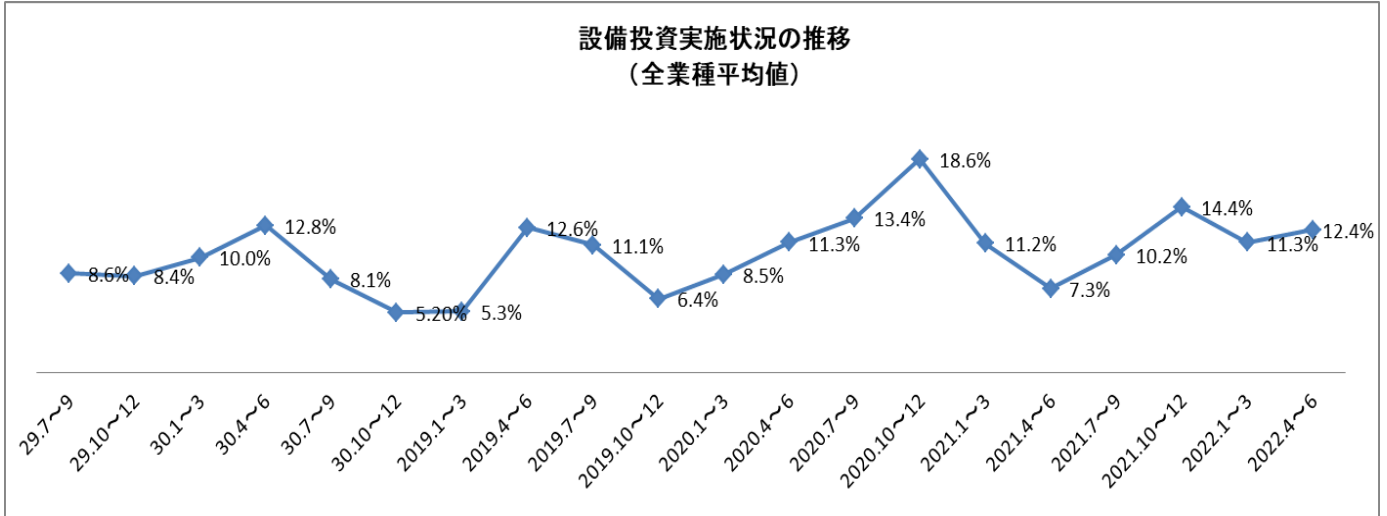
※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

従業員DI(全産業平均)



## 設備投資動向

- ・ 今期設備投資を実施した企業の割合は、12.4%（前期 11.3%）となりわずかに増加した。
- ・ 来期設備投資を計画している企業の割合は6.2%（前期 7.2%）となり、2期連続で減少となった。
- ・ 全国調査結果では今期 16.2%で前期より 0.1ポイント増加した。全国では来期も増加見込み（17.9%）である。



## 直面している経営上の問題点

製造業	1位	原材料価格の上昇	36%	建設業	1位	材料価格の上昇	31%
	2位	原材料費・人件費以外の経費の増加	22%		2位	従業員の確保難	16%
	3位	需要の停滞	9%		3位	材料の入手難	10%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	29%	小売業	1位	需要の停滞	16%
	2位	人件費以外の経費の増加	21%		1位	仕入単価の上昇	16%
	3位	需要の停滞	13%		3位	購買力の他地域流出	13%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	26%				
	2位	需要の停滞	21%				
	3位	利用者ニーズの変化	10%				

- ・ 全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

製造業	1位	原材料価格の上昇	46%	建設業	1位	材料価格の上昇	45%
	2位	需要の停滞	14%		2位	従業員の確保難	12%
	3位	生産設備の不足・老朽化	7%		3位	官公需要の停滞	8%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	37%	小売業	1位	仕入単価の上昇	24%
	2位	需要の停滞	23%		2位	需要の停滞	17%
	3位	販売単価の低下・上昇難	5%		3位	消費者ニーズの変化	14%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	23%				
	2位	需要の停滞	18%				
	3位	利用者ニーズの変化	10%				